



集中コース秋の部開催報告

『これからも、森へ』

ゆっくりと、穏やかに色づいてきた鳩吹公園の樹々とまわりの山並み。十月も終わりになつてようやく冷え込むようになってきた、その朝に、各地から七名の参加者の方々。遠くは大阪や和歌山から、近くは地元・伊那市から。

これから森や樹とかかわって生きたい、もつと森林や林業について知りたい、など様々な目的を持ちながら集中コース秋の部へ：ようこそ。二日目の午後は、雨で予定変更になったりしましたが、樹の生活様式から空間確

保の重要性。現状の樹の様子や森の様子。直径を、樹高を測って健康診断。幹距比を地味とともに考えて、保残木をマーキング。伐倒は、受け口・追い口・蝶番。枝を払って綺麗にしたら、一玉二玉丸太に玉切り。寄せて集めて簡単集材。縄と手木、アイで結べば、木登り道具。：と。

三日間。短い時間の中での様々なことから、そのなかから、何かひとつでも掴んで頂けたでしょうか。森林塾

は何かを提供できたでしょうか。忘れてしまいたいようなこと、もつと詳しく知りたくなつたことなど、疑問・質問・相談は、お気軽に事務局までご連絡下さい。そして皆様には、これからも、森への想いを抱きつづけて頂ければ、幸いに思っています。

発行 KOA 森林塾 (事務局) 0265-70-7065 編集 早川清志 題字 島崎洋路



緊張の、チェーンソー



も掴んで頂けたでしょうか。森林塾

まして。受付で資料と名札をどうぞ。 8時50分 保科先生と島崎先生の開講あいさつ。参加者の方々から自己紹介をして頂き、今回のインストラクターの後藤さんと川島さんからもあいさつを頂く。日程説明と班分けの後、島崎先生の森林調査方法についての講義。



これで樹高も、は・か・れ・る・の？

故郷のやまに繋がる伐倒 現場へ移動して班毎にプロット調査開始。まずは、20m四方の調査地選定。その中にある樹の一本一本について胸の高さで直径を測ります。次に梢と根元が見える樹の高さを測ります。 12時 小屋に戻り昼食。



アイは、むずかしい？！

15時 島崎先生の施業計画策定講義。 17時 一日目終了。交流会までにお風呂など。 18時30分 交流会開始。外では焼肉。中では、島崎先生が取ってきたきのこ汁と栗栖さ

13時 データ整理から森の健康診断。計算をすればするほど。：。枝葉が広がる空間を樹高にに応じて。幹と樹高のバランスは？そして次回の間伐時期や条件を設定すると。保残木の本数は。：。三角関数やに翻弄されながらも診断を終了。



上から下へ、あぶみや八の字



ワイゼったら、むずかしいわい

二日目

んの差し入れ。終了予定は、20時30分頃だけど...

8時30分

島崎先生の山小屋に集合。日程説明のあと、体操をしてから現場へ。熊木さんと服部さんの照る照る祈願のおかげに雨はまだ降り出してない。

9時

林道脇に丸太の積まれた土場にてチェーンソーの始動方法と玉切りの練習を各班で。緊張から体力が入ってしまいますが、チェーンソーを押し付け

10時45分

各班ともチェーンソー練習を終えて、昨日の調査地での伐倒を開始。マーキングのない樹の伐倒。樹の傾きや枝の張り出し具合、周辺環境から倒す方向を考える。「受け口」、「つる」、「追い口」をしつかりと。枝払いは、根元から梢に向かって。玉切りは、樹の重心を考慮して。チェーンソーが挟まれたら、慌てずにエンジン切って下さい。

13時

小屋へ戻り昼食。大粒の雨がときに激しく降ってきたので、午後は予定を変更。

14時45分

島崎先生による、釣り竿を使った円形プロット調査方法の解説と「山造り承ります」冊子の勉強会を開催。

15時45分

明日のぶり縄用に、麻のロープのアイ加工。「口挿し」をしつかり覚えて：ひとつ越して、ひとつ越して...

16時30分

清掃方法を各班で。仕事の終わりにメンテナンスをするように習慣付けましょう。

8時30分

島崎先生の山小屋集合。照る照る祈願が叶って、雨



チェーンソーで製材???



ひっぱりだこ運転手!

三日目

8時30分

島崎先生の山小屋集合。照る照る祈願が叶って、雨

9時

も上がり穏やかな秋の日。日程説明のあと体操をしてから現場へ。

14時20分

島崎先生によるチェーンソー製材機とまきわり君のデモンストレーション。丸太が、板に角材に薪に変身。

携帯型(?)ウインチ、ひっぱりだこを使った木寄せ集材と伐木造材を交代で。玉切った丸太が綺麗に集められていく。間伐が進む林内に木洩れ日。そんななか、記念品にと大きな株の輪切りを作成する方も。

15時

参加者の皆さんに感想をお聞きして、島崎先生の講評にてこの度の集中コース秋の部を終了。お疲れ様でした。

12時

小屋へ戻り昼食。

13時

ぶり縄木登りについての説明の後、小屋横のヒノキに取り付く。まずは抱きついて降りるときの感じを。そして一段目を作って登ってみる。一段目を充分練習してから安全帯の使い方を習う。雨の影響で樹肌が濡れているので一段目だけご了承を。続いてワンタッチ

講師/保科先生、島崎先生
スタッフ/後

藤、川島、早川、坂野

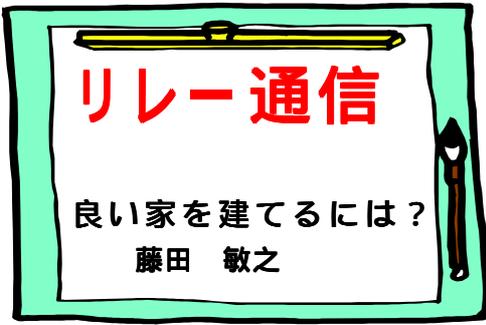


次回以降の予定

通年コース第15・16回
11月27・28日(土・日)
炭焼きと復習

移動式炭化炉とドラムカ
ンとで炭焼きに挑戦。火をつ
けた後は伐倒などを。そして
夕方からは少し早めの忘年
会。幹事さん募集中。

翌日は炭出しをした後、伐
倒チーム、保科山林見学チ
ーム、他に分かれて復習。先生
方の担当は初日です。伐倒・
見学以外にご要望があれば
事務局まで。



今年の夏の集中コースに
参加させていただいた藤田
敏之です。現在は、山仕事を
したいと考え求職活動中
ですが、平成十五年五月まで
は岐阜県の飛騨市で建築大
工として働いていました。



そのときの経験を踏まえて、
家造りについて私を感じた
ことを書いてみました。

さて、良い家を作るには
どうしたらいいでしょうか。
現在、いろいろな住宅やその
工法に関する本が発売され、
どれが一番良いのか迷われ
る人も多いと思いますが、最
初に結論から言ってしまう
と良い家を作るには、建て
主が良く勉強し、どんな家を
建てたいのが真剣に考える
のが一番だと思います。と言
うのも、そのような熱心な建
て主なら設計士や施工者を
選ぶときにもよく考え、自分
の目で確かめることは間違
いないからです。

では良い家とはどんな家
でしょうか。いろいろな考え
方があると思いますが、家を
一本の木にたとえると分か
りやすいと思います。皆さん
が考える立派な木のイメー
ジを挙げてみますと、どんな

地震や台
風がきて
も負けな
いような
太くどっ
しりした
幹にしつ
かりとし
た根、そし
て大きく
広がった
枝に青々
と茂った

緑ではないでしょうか。これ
を家に当てはめてみると、根
はその土地の地盤にあわせ
たしっかりとした基礎で、幹は
しっかりとした土台や柱、太い
梁や桁、そして、枝や葉が内
装の仕上げ部材といえる
と思います。

何故、私がこのような喩え
をしたかといえますと、家の
基礎と構造に十分にお金を
かけて欲しいからです。家を
建てるには予算の問題は避
けて通れませんが、どうして
も見える部分、つまり見栄え
の良い内装や立派なシステ
ムキッチン、多機能な設備機
器が目がいってしまいがち
です。そうするとどうしても
見えない構造や基礎がコス
トダウンの対象になってし
まい、結果として見栄えは
いいものの災害に弱い家にな
ってしまいます。それに対
して、構造や基礎にお金をか
けておけば、災害時にも安全

ですし、将来、生活スタイル
が変わった時でも簡単に安
く増改築ができます。なによ
り家が長持ちしますから、長
期的な目で見れば得になり
ます。

では、そのような良い家を
誰に建ててもらえばいいか
と言え、私なら腕の良い工
務店を選びます。また、少し
変わったデザインの家が欲
しい人には、建築家に設計し
てもらうのもひとつの手で
す。どちらを選ぶにしてもそ
こで建ててもらった人を紹
介してもらい話を聞くのが
一番だと思います。できれば
築五年程たった人を紹介し
てもらえれば一番です。

というのは建物は、建てて
しまえばおしまいというわ
けではなく、クレームへの対
応やメンテナンスのために
長くお付き合いするのが本
当です。良好な関係が築けて
いけば、いくらでも紹介でき
るはずで、築五年と区切っ
たのは、その頃なら建てた頃
の記憶もすっかりしていま
すし、初期不良から出るク
レームも出尽くしてしまっ
たからそれに対する対応も聞
くことができます。また、住
んでいくうちにわかった良
かった所や改善したい所を
質問して自分の家造りに役
立てることが出来ます。

もうひとつの手段は、建て
ている現場を見せてもらう
ことです。見えない部分がど
うなっているか見ることが
できるといふ点もあります
が、一番見て欲しいのは道具
や材料の整理、整頓ができて
いるかどうか、そして、掃除
がしっかりとできてくるかど
うかです。これが出来ている
所は、間違いなく仕事も丁寧
ですし、客への対応もしつかり
しています。

逆に営業マンの人柄から
選ぶ人もいますが、これは一
番良くない選び方です。営業
の方を悪く言うのは心苦し
いのですが、営業の仕事は、
顧客をたくさん獲得するこ
とで家を建てることではあ
りません。ですから、人柄が
どんなに良くても建てる家
の品質は何にもよくなりま
せん。専属の営業を置かずと
も口コミで仕事を取ってこ
れる所こそいい業者だと思
います。営業に多くの経費が
かからない分、安くいい家
ができるからです。

簡単に私の考える良い家
の建て方を書いてきました
が、最後に家を建てる前に読
んで参考にしていただきたい
本をいくつか紹介したい
と思います。

『それでも建てたい家』
宮脇 檀 著
新潮文庫刊 四百六十円
生活する人の視点から設

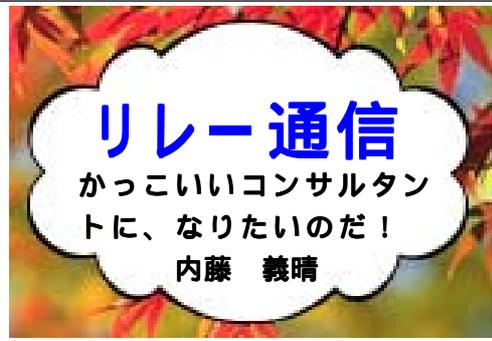
計をしてきた建築家が書い
た本です。家事をすべて自分
でこなしてきた実績もある
ことから、なかなかのを得た
指摘が多いです。この本だけ
でなく他の著書もお勧めめ
です。

『大工棟梁の知恵袋 住みよ
い家づくりの秘訣集』
講談社刊 九百二十四円
森谷 春夫 著

木造在来工法で住宅を建
てる際の基本的な知恵を紹
介した良書。家の各部分の構
造、仕組みを解説しているだ
けでなく、何故そうする必要
があるのかということをも素
人でもわかる言葉で説明し
ています。

『100万円の家づくり・自
分で作る木の棲み家』
笠原 昌憲 著
自然食通信社刊 二千二百円
セルフビルドに興味があ
る人にいい本です。著者は、
二間×三間(六坪)の小屋を
材料と道具を合わせて百万
円で建ててしまったのです
が、この中に家を建てる基本
がすべて詰まっています。図
や文章は分かりやすく、素人
だけでなく初歩的
な大工の本として
も優れています。





リレー通信
かっこいいコンサルタン
トに、なりたいのだ！
内藤 義晴

森林塾に入った動機は、
デブな体を少しでもスリム
にしようとい念発起して塾
に入ったのですが(うそ)、や
はり日ごろのデスクワーク
のおかげで、体力不足が露
呈してしまい、ご参加の
チームの皆さんに迷惑をか
けてしまったところを申し
訳なく思っています。



この会社では、都市の樹林地
保全係にされてしまいました
と、とくに「市民参加による
樹林地保全計画担当大臣」に
なっています。こんなところ
から、雑木林の間伐や下草刈
りの経験のない、コンサルタ
ントとして恥ずかしい場面
に直面しており、なんとかが
森林塾様の手をお借りして
この悩みを解決したかった
というのが、入塾の動機でし
た。

私の仕事は造園コンサル
タントで、公園をつくった
り、樹林地の保全計画など
を手がけています。このと

全国もそうだと思います
が、関東圏の都市の民有樹林
地は、相続などの問題で減少
する傾向が強く、市民パワ
ーで地権者のフォロアアップ
をしてあげないと樹林地が
保全できないというのが現
状です。

特に、地権者の高齢化が目
立っていて、昔は施行林とし
て樹林地を持っていた人が、
輸入材が多く入る時代に入
り施行を放棄している方が
多いですし、いわゆる雑木林
を所有している

「がさやぶ」になってしま
うと、いろいろと問題が発生
してくるのですが、ゴミの不
法投棄、生態の多様性の低
下、犯罪の発生、エトセト
ラ・・・都市型樹林地の問
題はいろいろと奥が深いの
が悩みの種なのです。

人もがエネルギー
ギーが新からガ
スへ転換してか
ら、樹林地の手入
れはおろそかに
なる一方で、どち
らのパターンも
樹林地は、がさや
ぶ(千葉の方では
こう言います。)
になってしまっ

かりました。そして、都市も
山地も同じ悩みを抱えてい
るのだなあと、しみじみと感
じてしまいました。

それを、チェンソーを
使った樹木の伐採ですが、運
動神経が鈍いせい、後藤さ
んに注意されてしまう場面
が数多く、なんとも頼りない
造園コンサルタントなので
した。しかし、チェンソー
を使うことができた経験は
大変いい経験になり、山の管
理は簡単ではないというこ
とが良くわかりました。

私、内藤と伊那との出会い
は、たしか三年前にパルクと
いう研修団体の実地研修で
伊那に訪れたのが最初で、確
か初冬のころだったと思い
ますが、朝焼けの「山の彩り
の美しさ」に惚れてしまった
ことが最初です。それから何
度も伊那には足を運んでい
たのですが、森林塾に入っ
ますます伊那への惚れこみ
度は強くなるばかりです。

それから、チェンソーを
使った樹木の伐採ですが、運
動神経が鈍いせい、後藤さ
んに注意されてしまう場面
が数多く、なんとも頼りない
造園コンサルタントなので
した。しかし、チェンソー
を使うことができた経験は
大変いい経験になり、山の管
理は簡単ではないというこ
とが良くわかりました。

コラム

秋ともなればキノコの季
節。そんな中、今年は三度も
マツタケを食べる機会に恵
まれました。初めは買った国
産物。二度目は買った外国
産。そして三度目は自分で
採った地物。それぞれ炊き込
みご飯とお吸い物にしてみ
ました。

感想はというと、「とても
美味しかった」と、あまり何
度も食べるものではない」と
言う事です。希少であり、高
価でもあるので、初めに食べ
た時は珍しさも手伝って、香
りといい歯ごたえといい、そ
れはおいしいと思いました。
ところが、二度、三度と食べ
る毎に、逆に香りをきつく感
じてしまい、あまりおいしく
思えなくなってしまうまし
た。

保科先生がかねてから、
「マツタケなんてそんなにお
いしいもんじゃない」と言わ
れていた意味が分かったよ
うな気がします。イグチやク
リタケなど、身近に数多くあ
り、何度食べてもおいしく感
じられるキノコの方がいい
と思える今日この頃です。

おわりに

木の葉は、秋になり気温が
下がってくるにしたがって
冬じたくを始めます。落葉で
す。その落葉をするにあたっ
ては、葉と枝のあいだに

投稿大歓迎。ご意見、ご質問、
ご要望、事務局まで。

TEL 0265-70-7065
FAX 0265-70-7994



E-mail:
ki-hayakawa@koanet.co.jp
sh-sakano@koanet.co.jp
携帯:090-4463-0062(開催日)
URL http://www.koanet.co.jp

